

各 駅 停 車

社会福祉法人 豊田市福祉事業団

福祉と障がいのある方を理解するための情報紙

No. 2 4 2008. 3. 10(季刊)

豊田市こども発達センター
難聴幼児通園施設

なのはな

TEL 0565-32-8983

なのはなは、平成8年に全国で27番目の難聴幼児通園施設として豊田市こども発達センター内に開設されました。なのはなには、難聴児への療育を行う「なのはな組」と言葉と対人関係の発達がゆっくりなお子さんへの療育を行う「ちょうちょ組」・「とんぼ組」の三つのクラスがあります。

(豊田市西山町2-19 豊田市こども発達センター内)

なのはな組

難聴児は、早期に発見し、聴力にあった補聴器を付けて、適切な療育を行うことで、言葉を獲得していくことができます。なのはな組は、遊びや生活体験を通じて「聴くちから」と「言葉のちから」を伸ばしていく施設です。

具体的には、補聴器を装用して聴覚活用を積極的に行うと同時に、お子さんに応じた視覚的な手段を用いて、日常生活に即した言葉の発達を促しています。

また、保護者と一緒に療育を行い、家庭でも実践できるように支援しています。

なお、お子さんによって登園回数は異なります。登園しない日は、地域の保育園・幼稚園に通ったり、家庭で過ごしたりしています。センター内の外来療育グループあおぞらや地域の育児サークルに通うお子さんもいます。

言葉は、子ども同士の触れ合いの中で生まれ、育っていきます。また、言葉は、実際の体験を通じて豊かなものになっていきます。この考えに基づき、なのはな組では、お子さんの状態に応じて、可能な限り、地域の保育園・幼稚園との並行通園を行っています。



ちょうちょ・とんぼ組



ちょうちょ・とんぼ組は、発達がゆっくりなお子さんが1年間保護者と一緒に通うクラスです。各クラスの人数は10人で、2歳児と3歳児が週5日通います。一緒に遊んだり、生活体験を通じて共に日々を過ごすことで、子どもと保護者との関係作りを促します。また、排泄、着脱、食事などの身辺自立をめざして、個々の発達段階に応じて支援します。保護者の相談支援も行っており、保護者と職員が一緒になって子育てについて考える場所となっています。

他の保護者と子育てについての同じ悩みを共有しながら通うなかで、子どもたちは確実に成長し、それに合わせて保護者も子育てにほのかな自信を持てるようになっていきます。療育を通して、お子さんのあゆみをひとつひとつ見つけた時の感動を、みんなで分かち合えるのがこのクラスの良いところであり、それが私たち職員の元気の源にもなっています。



なかよしもちつき大会

2008年、新しい年が始まりました。

1月11日（金）、こども発達センターでは、なかよしもちつき大会がありました。たくさんの方が参加する、1年の中ですべても大きな行事です。オープニングでは、子どもたちの大好きな『エビカニクス』のダンスがあり、会場の皆さんの温かい手拍子にのって、子どもたちも楽しそうにリズムをとっていました。もちつきでは、ひまわり・たんぽぽ・なのはなの各施設の子どもたちが、お父さんやお母さん方と一緒に餅をつきました。自分の順番になるとニコニコととてもうれしそうな表情で、杵を持ってついていました。



つきたてのお餅を食べたとき、「生まれて初めてお餅が食べられました！」といううれしい声が、何人かのお母さんから聞くことができました。普段一緒にいるクラスのお友だちや、お母さん方と食べるという雰囲気がよかったのかもしれませんがね。このようにセンターではいろいろな行事を行い、季節の風習を知ったり、経験の幅を広げたりしています。

（豊田市こども発達センター　なのはな支援員）

トピックス

豊田市福祉事業団 ホームページリニューアルのお知らせ

このたび当事業団のホームページが装いも新たにリニューアルしました。新しいホームページでは、各施設の療育・支援についての情報をご提供するとともに、当事業団で行われた催しの様子や各施設での日々の活動風景を『絵日記』として皆さまにお知らせしていきます。また、事業内容についても情報公開を行ってまいります。ぜひ一度、のぞいてみてくださいね！

⇒ <http://www.fukushijigyodan.toyota.aichi.jp/>

（Yahoo!などの検索エンジンから『豊田市福祉事業団』で検索できます。）



メモ

シンポジウムを開催しました。

2008年1月26日（土）豊田市産業文化センターにて「精神障がい者は今」というテーマでシンポジウムを開催しました。今回のシンポジウムでは精神障がいのある方の現状やサポートについて理解していただくことや、精神障がい者の新たなサポートシステムについての構築について検討していただく機会となればと考え開催しました。

講演には奈良市の「ピアステーションゆう」の施設長加藤大輔氏と当事者2名の方に「クラブハウス」の取り組みについてお話しいただきました。当日は130名の参加があり、盛況のうちに無事終了しました。参加していただきました多くの方や講師、シンポジストの皆様ありがとうございました。